

私はこの研修を通して様々な貴重な体験をし、自分の決意の弱さと努力の甘さを実感しました。また、大学進学への意識改革と自分の勉強への態度を改めようと思う事が出来た素晴らしい研修になりました。

私の主な研修の目的は東京大学宇宙線研究所の訪問にありましたが、他に研修先で訪れた新日鐵や東京大学のオープンキャンパスでも貴重なお話や体験をすることができました。それぞれ聞いた事を隅々まで全て書き込みたいのですが、ここでは私の研修について大雑把に説明していきたいと思います。

新日鐵の本社の方では、各部の社員の話それぞれ詳しく聞くことができ、仕事がどのように構成されているか、どのように行われているかを良く学ぶことができました。社員の方々の仕事に対する熱意がとても伝わってきて、私も将来自分の仕事にこれだけ誇りを打ち込んでみたいなあと思いました。そして、今までの企業の仕事に対する偏見が払拭され企業に対して大変好印象を抱く事も出来ました。また、仕事に何が大切なものは私達、高校生の内から身につけることができるということが特に印象深い話でした。部活や文化祭、クラスでの活動をそれぞれ大切にすることでチームワークを育み、将来企業で企画を起こすなどに周りの仲間たちとより良いチームワークを作ることができるということがとても実感できました。私も、卓球部の部長というチームワークを育むべき中心人物として、これからも卓球部のチームワーク作りに尽力をつくし、将来の力としてこの身に定着させていきたいと強く思いました。ここで学んだチームワークを高校だけでとどまらず、どんどん社会にでてから応用していきたいと心の底から思いました。

東京大学宇宙線研究所では、中嶋大輔特任助教に多くの話を聞くことができました。私自身、小さい頃から宇宙線や、素粒子にとっても興味を持っていたので大変素晴らしいお話を頂くことができました。最初は緊張していてガチガチしていましたが人の良さが滲み出た中嶋特任助教のフレンドリーな対応に私達も安心し、沢山のことを質問することができました。やはり、どこでもコミュニケーション能力を身につけることは基本中の基本であるが最も大切なことなのではないかとの時思いました。それから、中嶋特任助教が今担当している国際宇宙ガンマ線天文台 CTA の現在の開発状況や、完成後の高エネルギー天体の観察などとても充実した内容を学ぶことが出来ました。私がとても興味があった高エネルギー天体であるマグネターなどについて中嶋特任教授もとても興味があって CTA ができたら研究をするのが楽しみだと言っていたのを、思い出すと今でもとても高揚感を感じます。また、宇宙の起源や、宇宙人についての個人的な見解や考えをお話して頂き自分の知識として新たに多くのことを、取り入れることが出来ました。さらに、CTA の開発環境や開発している部品の一部(一枚直径 2m もある鏡や、チェレンコフ光をとらえる光センサーなど)を実際に見せて頂き大変貴重な体験をさせて頂きました。他にも、ハイパーカミオカンデなどについても教えて貰い、私にとって人生の中でも最も充実した日の中の一つとなりました。そして、四年後以降に再びこの場所に立ち今度はただの来訪者としてではなく一人の立派な研究者としてこの地に赴き CTA 計画やハイパーカミオカンデなどに深く携われるようになりたいと強く思いました。そして、その為には今の何百倍もの努力が必要だということもこの施設をみて実感しました。自分の甘さに打ち勝ち是非、もう一度この地に足を踏み入れたいとおもいます。

東京大学のオープンキャンパスでは、私は主に理学部一類を見に行きました。初めから、宇宙、物理学などにしか興味がなく理学部一類を隅から隅まで見学すると決めていたので、開始 1 時間前から列の先頭に並んで待っていました。午前中は模擬講義を受けるのにほとんどの時間を費やしました。教授の講義は大変分かりやすくつい聴き入ってしまい、危うく時間を忘れてしまうところでした。アインシュタインの重力波についての講義や反物質についての講義。ヒッグス粒子についての講義まで受けました。とても難しく理解することすら困難なものをどうしてこんなに人に分かりやすく説明する事が出来るのだろうかとても衝撃を受けました。東大生の方々は努力でどうにでもなると言っていました。きっと私には想像もつかないくらい並外れた努力をしてきたのでしょう。私は、ここで自分の努力が如何に足りなかったか、小さなものであったか思い知らされました。展示の方でも、多くの興味深い展示を見ました。その中でも私は天文学部の ALMA の展示にとっても興味を持ちまし

た。ALMA は現在活動している望遠鏡の一つであり東京大学がその運営に大きく関わっています。ALMA はドップラー効果を利用して惑星系形成の様子を観察することができる画期的な望遠鏡です。私もこのような画期的な望遠鏡の一人者として将来立派な学者になりたいと思いました。また、自分自身でも新しい望遠鏡を考案したり、宇宙の起源について深く迫れるような研究をしたいと思いました。

ここまでが、私の大雑把な研修についての説明であります。最後にまとめとして、自分の感想と決意とこれからすべき事柄を書いていきたいとおもいます。

この研修を通して、冒頭で述べたとおり、私には努力の甘さと決意の弱さという面に大きな欠陥がある事がわかりました。また、自分の普段の勉強に対する工夫や考え方が少し悪いということもとても実感しました。このような欠陥を直すにはどうすれば良いのか。私は二高 OB、OG との懇親会でも話を聞いて自分なりにこれからのための方針を考えて見ました。どちらにせよ私には圧倒的に勉強時間が足りていないのですが、無駄な時間、例えば地下鉄に乗っている時や、学校の休み時間を利用して少しでも勉強をしようとするように心がけようと思いました。私の登校時間は約 1 時間 20 分くらいでそのうちの一時間程度は乗り物に乗っています。それをゆったりしたり、ぼーっとしたりするのに使うのではなく勉強に使えば以前より一週間で 6 時間も多く勉強できる事になるのです。もっと早く気付くべきことだったのですが、これからやっぴいこうとおもいます。また、自分の苦手な教科ばかりやるのではなく、得意な教科を確実に伸ばしていきたいと思いました。懇親会で、多くの東大生の方が自分の苦手な教科を克服するより、得意な教科をとことん伸ばすべきだと言っていました。私は今まで苦手な教科を克服する事ばかり考えて他の得意教科をおろそかにし、結局全て失敗に終わるという繰り返しでした。しかし、これからは得意な教科をひたすら伸ばしていきたいと思います。二年生の今から始めることができることは少ないかもしれないし、ましてや一年の頃にできなかったものを取り返して挽回するようなことは出来ないと思いますが、今述べたことをしっかりと有言実行し、この研修で体験したことを忘れずに常に志を高く持っていこうと思います。難関大学合格への道はまだまだ見えず、自分の甘さが憎いということが分かった素晴らしい研修でありました。これからは、自分の意識をしっかりと改革し、口先だけにならないように頑張っていきたいと思います。